

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】 SST G1Pro アップデートインストーラ
【対象製品】 SST G1 Pro 日本語版 / 英語版
【登録名】 SST G1 Pro Ver.3.1.24
【アプリケーション名】 setup.exe
【著作権者】 株式会社カンバス
【動作環境】 Microsoft Windows 10 / 11 / 日本語版 / 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver.3.1.24> 2024.5

1) 本バージョンアップによる変更

- 字幕入力
- IMSC1.1(TTML2)のエクスポート ※有償オプション

2) 本バージョンアップによる修正

製品をアップデートするにあたり、以下の注意点がございます。
該当する方は、注意事項をお読みいただいた上でアップデートしていただくようお願いいたします。

[OSSTG1Dub をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください](#)

[Ver3.1.13 をご利用のユーザー様へ：波形データ削除のお願い](#)

[再インストール時のチケット消費に関する注意点](#)

[再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点](#)

1) 本バージョンアップによる変更

●字幕入力

－字幕ウィンドウ上で、文字を選択して上書き入力しても、上書きにならずに元の文字が残ってしまう件について対応しました。

日本語入力システムを Microsoft IME にして、字幕ウィンドウ上で文字列を選択して文字入力をすると、本来は上書き入力となり選択した文字は消えるはずが、消えずに残ってしまう事象が発生していました。本件は、Windows 10 バージョン 20H2 および Windows 10 バージョン 2004 の更新プログラムから発生している Microsoft IME の不具合が原因です。不具合の詳細は下記 FAQ【事象1】をご覧ください。

<https://canvass.co.jp/news/20210114windowsupdate/>

この問題について、SSTG1 側の仕様を変更し、Microsoft IME で正常に上書き入力ができるように対応しました。

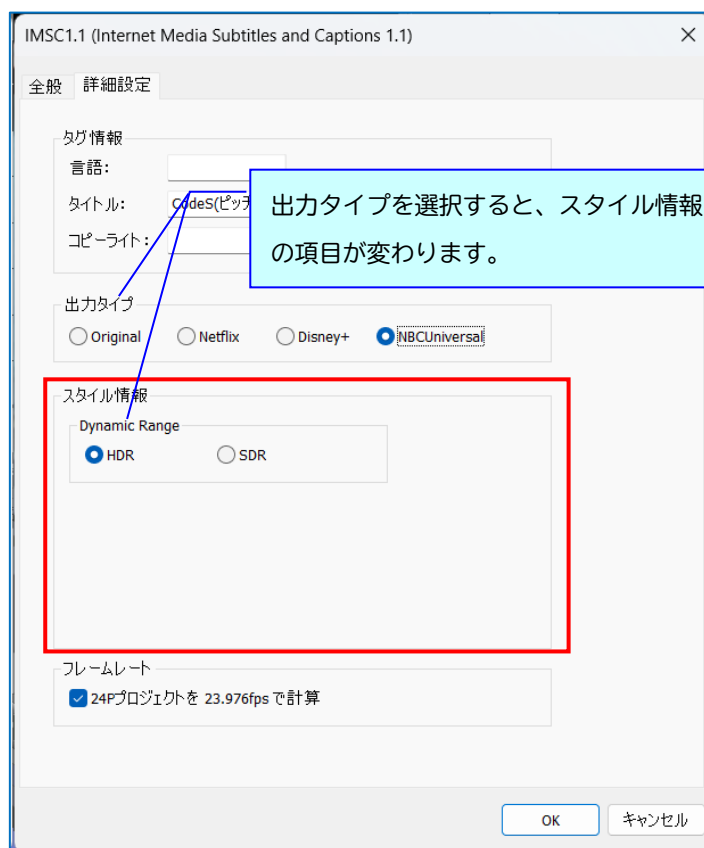
なお、上記 FAQ の【回避策】の「3) 以前のバージョンの Microsoft IME を使う」の設定をされている方は、オフに戻していただいてもかまいません。

●IMSC1.1(TTML2)のエクスポート ※有償オプション

<全出力タイプ共通>

－「出力タイプ」を選択すると、そのタイプに合わせて「スタイル情報」に表示される項目が変わるようになりました。

－[詳細設定]タブの「フレームレート」－「24P プロジェクトを 23.976fps で計算」のチェックについて、24P プロジェクトの場合のみチェックボックスが有効になるようにしました。



<出力タイプ：NBCUniversal 用のみ>

－これまで HDR 用しか出力できませんでしたが、SDR 用も出力できるようになりました。

–タイムコードを実時間で出力するよう変更しました。

以前のバージョンはタイムコード（フレーム）出力していましたが、本バージョンより実時間で出力するようになりました。ただし、秒より下は 10 ミリ秒表記（2 桁）になります。

映像のフレーム	10 ミリ秒表記	実例
29.97fps	00~29	実時間 00:00:01,852 の場合→ 00:00:01:25
25.00fps	00~24	実時間 00:00:01,852 の場合→ 00:00:01:21
24.00fps	00~23	実時間 00:00:01,852 の場合→ 00:00:01:20
23.976fps	00~23	実時間 00:00:01,852 の場合→ 00:00:01:20

ミリ秒表記は、実時間換算した後に映像のフレーム数に応じた 2 桁の 10 ミリ秒表記に変えており、SST 上のフレームとは異なります。混同されないようご注意ください。

–24Fr のプロジェクトの場合、必ず 23.976fps として扱って出力するようになりました。

2) 本バージョンアップによる修正

–「属性を含めてコピー」を行うと、バックアップファイルの保存先フォルダに

「_CST_Subtitle0000.sdb」（0000 部分は連番）というファイルが作成されてしまう問題について、ファイルが作成されないように修正しました。